

	中川連合町内会広報誌	発行日 2018年7月1日
	発行者 中川連合町内会広報委員会	第3号
	発行責任者 小泉正彦	特集：中川の夏祭り・盆踊り

安心して安全な街「中川」をつくる

きれいな街づくり事業

《清潔な街づくりは、ごみ問題から》

横浜市は、廃棄物（ごみ）行政の将来ビジョンを「清潔で美しい街」の実現にしています。そして、すべての市民がごみのことで困らない住みよい街づくりのため、みんなが協力し合って3R夢（スリム）行動の推進を呼びかけています。

ごみは、日常生活を営んでいるかぎりどこの家庭からも出ます。私たちにとっては、このごみは「燃やすごみ？」それとも「プラ？」、最も身近な問題で悩ましい問題でもあります。分からなかったら？面倒くさい！燃やすごみへポイ！ですか？案外、買い物したとき貰う「レシート」は、丸めて燃やすごみ？ちょっとお待ちください。レシートは小さくても古紙（雑紙）です。資源化（リサイクル）できるものを燃やすごみにポイ捨てでは燃やすごみが増えてしまいます。燃やすごみが増えると、ごみ集積所に出される量も増えます。燃やすごみは文字通り「焼却工場」で燃やします。燃やすと残渣（燃えカス）や灰などが出ます。

また、家庭ごみとして出されるごみには、燃やすごみのほか陶器、化粧ビン、ガラス製品など燃えないものがあります。燃えないゴミと燃えカスと灰は、捨てる場所が必要になります。平成22年までは、横浜市のごみは、唯一の処分地であった「神明台処分地」に埋め立てられていました。

現在の最終処分地は、南本牧の海中(写真)



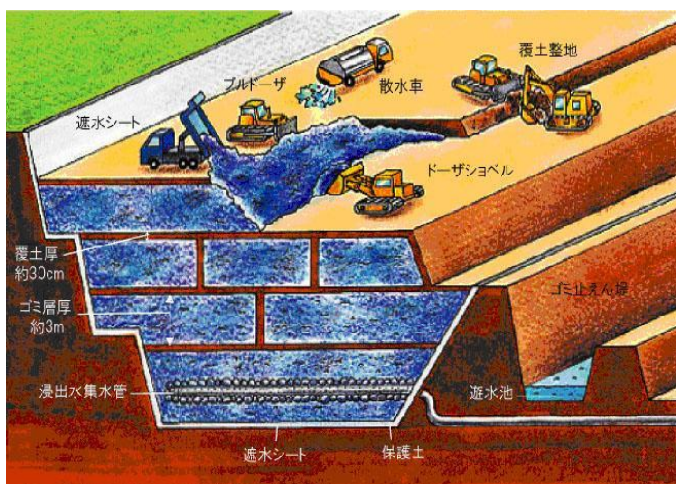
海中処分地の建設には、莫大な費用がかかります。そのため この処分地を延命して使用していくには、ごみを出来るだけ出さない！それには日常生活の必需品 = 食品・野菜・惣菜・嗜好品等々は、ロスが出ない量だけを買うなど、ごみの発生源である生活拠点で、ごみ量を少なくすることが効果的なごみ減量化になります。

《きれいな街づくりはごみ集積所から》

ほとんどのごみ集積所は、生活拠点の地域の空き地や歩道、路上等に置かれています。形態は、ネット、ネットボックス型のほかポリバケツなど、物理的条件から様々ですが、いずれの方法にしろ、ごみのうち台所から出る家庭ごみが大部分を占めています。このごみは、80%が水分で『水をごみで出している』ことになります。台所ごみは、水分を切って出すこと、水分を含んでいると25度以上の暑さで腐食して異臭がするなど、清潔で美しい街づくりは維持できないことは言うに及ばず、ごみの減量化にもなりません。

《 ごみ減量化推進 》

処分地を、いかに長くもたせ使用するか、ごみの発生抑制を考えていかねばならない。



＜埋め立て処分地の仕組み＞

これから始まる中川の夏まつり 盆踊り

中川地区絵図



< 夏祭り・日程 >

- ① 岡津第一町内会 8月 4日(土) 17時～横浜農協中川支所
- ② 岡津第二町内会 7月 28日(土) 17時～領家第一遊水池
- ③ 岡津第三町内会 8月 18日(土) 17時～集いのまほろば
- ④ 岡津第四町内会 8月 4日(土) 17時～岡津鷹匠町公園
- ⑤ あおば自治会 9月 8日(土) 17時～あおばのひろば
- ⑥ 岡津新町町内会 7月 28日(土) 18時～岡津宮の谷公園
- ⑦ 岡津町西部町内会 7月 21日(土) 18時～岡津第一公園
- ⑧ 弥生台自治会 7月 14日(土) 15時～弥生台南公園
- ⑨ グリーンハイム弥生台A・B・C地区自治会
8月 25日(土) 16時～弥生台北公園
- ⑩ 西が岡第一自治会 8月 4日(土) 16時30分～西が岡一丁目公園
- ⑪ 西が岡第二自治会 8月 11日(土) 15時～西が岡二丁目公園
- ⑫ 西が岡第三自治会 7月 28日(土) 16時～西が岡三丁目公園
- ⑬ 領家自治会 8月 18日(土) 17時～領家三丁目公園
- ⑭ ルネ戸塚弥生台自治会 8月 25日(土) 15時～岡津竹の鼻公園
- ⑮ 桂坂自治会 7月 28日(土) 17時～桂坂公園
- ⑯ みやこの杜自治会 8月 25日(土) 15時～新橋宮古公園
- ⑰ グレーシア山手台自治会 7月 28日(土) 16時～岡津南第二公園
- ⑱ 岡津小学校夏まつり 7月 21日(土) 13時30分～岡津小学校
- ⑲ 新橋コミハ・ミニ縁日 7月 26日(木) 11時～新橋コミュニティハウス

雨天時の対応につきましては記載
しておりません。各町内会に、ご
確認ください。ご了承ください。



2025年に向けて地域で取り組んでいくこと

その1：自治会編

1. 2025年問題とは



2025年には国民皆保険制度は、大きな節目を迎える。日本の人口動態中の最大集団である“団塊の世代”（1947～1949年生まれ）の全員が75歳以上（後期高齢者）となる。一方、見方を換え医療費について、公的医療保険の面からみると後期高齢者の年間医療費は92万円で国民平均（30万円）の約3倍にもなっているのが実態である。この現実は今後も医療費の増大傾向が続き何らかの対策を講じなければ国民負担の増加、給付の引き下げをせざるを得ない状況となってしまう。

2. 考えられる地域での取り組み

1) 地域に在住する団塊の世代には、常に健康年齢を維持するため、少しでも社会的活動への参画、あるいは各種イベントへの積極的参加を促していく。

2) 地域のシニアクラブと連携し、各種イベントの企画立案及び広報活動を行うことにより、引きこもりがちなシニアを地域の輪の中に引き出していく。ただしシニアクラブへの加入率は低迷している。

3) 中川地区に設置されている各種施設（中川地区センター、老人福祉センター「泉寿荘」、コミュニティハウス）で実施しているイベント、サークル活動を繰り返し紹介し、参加を促すと同時に中川地区社会福祉協議会が地域で実施している“ライフサポート事業”「里山夢プロジェクト」への参加を促す広報活動を繰り返す。

3. 実施するときの地域の課題

各自治会町内会において、毎年役員が交代し、その担い手の9割が女性で構成される地域が多い。そのため自治会役員の役割を一から理解するのに時間を要し、4月就任後、7、8月に開催される「夏祭り」の準備にまい進し、地域の各種課題に取り組むのは秋になってしまう地域がほとんどである。そのため、地域の課題について計画的に取り組む、企画立案しても、実施する頃には役員交代の時期となり、毎年先送りされることが多い。区役所、各種団体からの広報誌を地域に速やかに回覧すると同時に、連合町内会定例会で配布された資料をコピーし、地域の実態を極力広報する。それと同時に自治会広報誌を発行し、再度地域でのイベントなどを紹介し、参加を促している。



地域課題の解決へ 継続して進める

<中川地区経営委員会>

認知症サポート支援事業

研修会と学習会を中心とした活動に、認知症の方に直に触れ合う有意義な活動を加え、認知症対応施設で直接ふれあい、認知症のカフェ運営の機運が高まっているが、まずは里山プロジェクトと共同して認知症の方や支える人たちと広く交流活動をしていきます。

青少年健全育成事業、居場所づくりなど

青少年見守り活動、青少年のイベント協働活動、青少年の居場所づくり活動、科学や理科に興味を持つ子どもを育てる事業・教室の開催等実施する予定です。青少年育成委員会を開き、育成事業の目的や推進計画を検討していく。7月22日夏期休暇入りに合わせた青少年見守り、交通事故防止パトロールの防犯集会を実施する予定です。

受動喫煙対策健康被害防止の環境整備

地域に起こる歩行喫煙と煙草のポイ捨てである。自治体の条例などにより、屋外の喫煙規制が先行してきたが、心ない一部の喫煙者による歩行喫煙やポイ捨てが止まず、健康被害防止、他人のたばこの煙を吸い込む屋内受動喫煙による健康被害をなくす実効性ある対策の信頼性が揺らぐ。屋外の喫煙規制をきちんと守り、健康被害防止へ実行ある環境問題として新たに禁煙問題として取り組んでいきたい。

＜編集後記＞わたしたちは、これからも安心安全の街づくりと、人と人のつながりの豊かな街をつくり、自らの課題に取り組む自発性豊かな多くの人たちが住む街を、そして、地域課題に取り組む街を目指して今年度も活動しています。地域課題の解決には継続的な取り組みが不可欠です。これまで、その積み重ねで成果が得られています。会員相互の交流とご協力をお願いします。（小泉）

<発行責任者> 中川連合町内会 小泉正彦

横浜市泉区岡津町2085 TEL/FAX 045-812-1957 メールアドレス：nakagawa_rengou@yahoo.co.jp